

講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今年度開催された講座の中から5つの講座に参加された方々に感想を寄せていただきました。それぞれの雰囲気を感じていただき、ぜひ今後の講座にご参加ください。



地域で協力して支援したい

今回の講座に参加したきっかけは、最近、日常的に外国人を多く見かけるようになったことや日本語教師の資格を得ていたので、何かできる事があればと、考えたからです。4回に亘っての講座で、日本で暮らす外国人親子の現状や、課題を知ることができました。

「外国にルーツをもつ親と子どもの日本語教育を考える」を受講して
中島 純子

第1回は、志村ゆかり講師による、地域に暮らす外国人の子育てに必要な視点についてのお話でした。現在、国立市在住の外国人は約千八百人で、中国、韓国、ベトナム人の順で年々増加しているそうです。環境や文化の違いを考慮しないと、外国人には理解できない事柄が色々あり、支援の難しさを感じました。また日常会話ばかりでも、教科書の問題文が理解できない子どもたちを支援している講師の活動を聞き、日本語の学習時間の少ないのも課題だと思いました。

第2回は、頼田敦子講師によるお話で、現在、国立市在住の日本語を母語としない方の日本での子育て経験を伺いました。フィリピンの方で小学3年生と5年生の母親は仕事のため来日したそうで、買い物や病院、幼稚園など、あらゆる面で日本語の壁を感じ苦労している面を感じました。

第3回、4回は、頼田講師による、子どもに寄り添う支援についてのお話でした。それぞれ、状況の違う子どもたちが、「日本語で学ぶ」力を身に付けていけるかが、子どもたちの就学、進学など将来に繋がる鍵となると思いました。最後に教材の紹介があり、絵本や、

たそうです。また、中国の方で小学5年生と生後4か月の子どもの母親は、小学校での様々なコミュニケーションが難しく困ったそうです。不安を乗り越えられたのは、公民館で日本語を勉強した事や、地域の人々の助けがあったからだだと、日本語で嬉しそうに話されました。

鉱物とは「地質作用により自然にできた固体物質」で5500種ほどあるという。ヒトの生まれる前に地球上で何が起きたのか文字



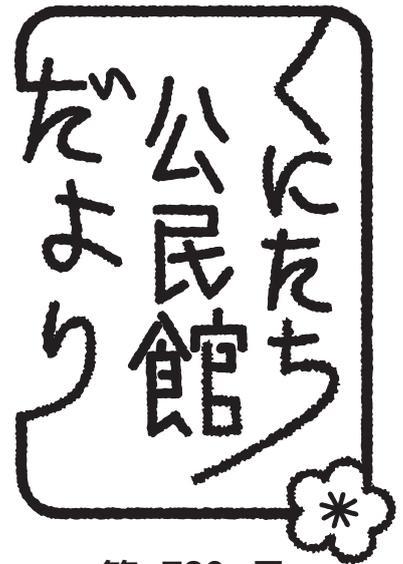
「鉱物の魅力」を受講して

澤邊 里美

今月の公民館 (2月、3月中旬)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 15日(土) 昼 目で見て楽しむプログラミング体験
- 16日(日) 昼* シネボックス CINEVOX 公民館映画会 『断崖』
- 18日(火) ~* キミ子方式水彩画展
- 22日(土) 昼* 図書室のつどい 「ゆっくり、いそげ~カフェからはじめる人を手段化しない経済~」
- 28日(金) 夜~ 近現代史講座 「民衆蜂起の近代史」
- 3月7日(土) 昼* ドキュメンタリー映画 『天に栄える村』
- 15日(日) 昼 「誰も知らないコケの生き方」



第720号

2020年2月5日 (令和2年)

「くにたち公民館だより」 ホームページのQRコード▶



として残っていないのでわからな
いが、地球を形作る鉱物には40億
年の痕跡が残っているので、宮脇
律郎先生曰く鉱物は「地球がつぶ
やく言の葉」とのこと。講座では、
鉱物の形、結晶構造、色、硬度、
密度、方解石の特徴など鉱物の様
々な性質について、大変興味深い
話だった。



いろいろな鉱物を見せていただき
ました

印象に残った話は、金は密度
が高く、水の約20倍で1ℓの牛乳
パックに金を入れると約20kgとな
り、灯油のポリタンクぐらゐの重
さになるとのこと。時代劇で千両
箱を盗む悪党は、相当な腕力の持
ち主ということになる。
ダイヤモンドは最も硬い鉱物で
あるが、ある方向で割れる劈開が
あるので割れやすいという。この
ため宝石に加工できる。またプリ
ズム効果により虹色に光るためカ
メラレンズには向かないそうだ。
国石となった翡翠は、翡翠輝石
という鉱物が集まってできた岩石
で、日本では縄文時代から加工さ

れてきた。もともと中国では翡翠
のお腹の色と翼の色の2色ついた
石を翡翠と言っていたという。



様々な鉱物の標本

密度の高いダイヤモンドや翡翠
は、地中深く圧力を受けてでき、
何らかの作用で地表に出て来たそ
うだ。

鉱物の結晶は長い年月をかけて
地球が生み出した芸術作品と言わ
れ、神秘的な美しさに見とれてし
まう。「パワーストーン」という
パワーは科学で説明できなくても、
美しさに魅了するパワーは確かに
と思う。また、私は鉱物を近くに
置くと、静かに寄り添い心を和ま
せ癒してくれるように思う。宮沢
賢治は石が大好きで、独特の名前
をつけて作品中に登場させている
のでまた読み返してみたい。鉱物
は毎年新種が100以上も発見され、
まだ知られていない鉱物がたくさ
んあるそうだ。鉱物との出会いは
一期一会。これからも新たな出会
いが楽しみである。鉱物の魅力は
ますます尽きない。

「芭蕉句の謎をとく」に 参加させていただきました りがとうございました

松本 令勝

芭蕉句の謎をとく。この誠に意
味深い講座の講師は、深沢真二さ
ん(和光大学教授)で、1991
年には新進俳文研究者に贈られる
「柿衛賞」を受賞された俊才です。

近世俳諧に造詣の深い深沢真二さ
んの講演があることを「公民館だ
より」で知り、早速、妻と2人で
参加させていただきました。

私たち夫婦は親しい友人たちと、
順繰りに郵便で連句をやりとりす
る連句の会を趣味で楽しんでいま
す。36句の連句を6人でほぼ半年
かけて1巻巻き上げます。



芭蕉の世界にひたりました

今回、「芭蕉叢考―風雅と笑い」
『芭蕉叢考2―旅する俳諧師』な
どの名著で有名な深沢先生のお話
を拝聴できる、私たちにとって半

世紀ぶりの授業(?)に参加でき
る、などとワクワクしながら出席
させていたただいた次第です。

さて、松尾芭蕉の有名な4句の
成り立ちと、その時代背景、芭蕉
の意図、作意と近代との解釈の相
違などを、2回の講座に分けて詳
しく解説していただきました。以
下がその4句です(私の独断にて、
読みやすく現代文字、熟語、送り
仮名に変えて表記しました)。

草の戸も 住み替わる代ぞ ひなの家
菊の香や 奈良には古き 仏達

身とな思ひそ 玉祭り
旅に病んで 夢は枯野を かけめぐる

すべての句について、ここに書
ききれませんので、例えば、4句
目の先生の解釈。誰でも知ってい
る芭蕉の臨終の句ですが、果たし
てこの「かけめぐる」が正しいの
か、否か。

難波の地にあつて、介抱に侍る
弟子の吞舟を枕元に召され、最
後の句を記録させました。吞舟は
次のように記したとされています。
旅に病で

夢は枯野を かけ廻る
この「かけ廻る」は、「かけめ
ぐる」とも「かけまわる」とも読

むことができます。深沢先生の主
張は「かけまわる」でした。それ
は、芭蕉が「心あらむ人」として
尊敬した、紀貫之・能因法師・西
行法師の列に加わりたい、との思
いが込められているからです。

津の国の難波の春は夢なれや声
のかれ葉に風わたる也(『新古今
和歌集』西行)の和歌の、まさに
本歌取りであり、難波の枯野
を西行と同じように、かけまわり
たい、との思いが込められていた
のではないのでしょうか。ここでは、
省きますが、同じ難波の地にあつ
て西行も能因の和歌を本歌取りし、
能因も貫之の和歌を本歌取りして
いたのです。とても説得力のある
解釈だと、大変勉強になりました。

私も、これからは俳諧老人では
おがましいので、徘徊老人
として、国立の枯野を駆けまわり
たい気持ちに満たされました。

図書室のついで「沖繩 報道」に参加して

湊 修一

退職して10余年。私の関心は森
の自然と山村の暮らし、そして政
治・社会問題でした。「公民館だ
より」で講座を確認する作業は生
活の中で楽しみの一つです。
参加した講座で学ぶことは、集



日本のジャーナリズムの現在についてお話いただきました

約すると三つほどでしょうか。
①より深く鋭い視点や切り口を提
供していただけること。
②新しい分野への興味関心を刺激
していただけること。

③研究を深めておられる講師のお
人柄から得ることが多いこと。
今回は山田健太先生の「沖縄報
道」についての講座。沖縄と本土
のメディアの違いから本来のメデ
イアのあり方を厳しく問う姿勢に
共感し、学び直しができました。

沖縄現地の新聞を購読していらっ
しやること。具体的なお話し
を数多くお聞きしながら、復帰前
に初めて沖縄を訪ねた若い頃を思
い出していました。

20歳少し過ぎた頃に沖縄返還。
返還前の現地を確かめたい一心で
コザ市(現在は沖縄市)在住の友
人を訪ね、それを契機に幾度も訪
れました。2泊3日の船旅で上陸
し、南部を一人で歩いていると丘
の向こうから着物を着て杖をつい

た白髪のおばあさんに「ヤマトか
ら来たか?」と問われたこと。あ
る人は「島ちゃび」という言葉で
島の寂しさ・辛さを語っていたこ
と。圧倒的な力で占有する広大な
嘉手納基地からB52爆撃機がベト
ナムに向けて離着陸を繰り返して
いたこと。基地で働きながら基地
の存在を自ら拒否する基地労働者
が基地を包囲・抗議していたこと。

沖縄はいずれ「キラキラ・オキナ
ワになるよ」と自嘲気味に語って
いた人。誰でも受け入れる大らか
な風土。どれもこれもが私の沖縄。
沖縄を考える原点です。

先生の講座は「沖縄から見る日
本」を終始語り、その視点は過剰
な基地負担と民衆ジャーナリズム
の歴史・徹底的な事実検証「ファ
クトチェック」の必要性・どのよ
うな権力であっても常に監視し対
峙するところにメディアの普遍性
があり、事実と真実を知るうえで
欠かせないことなど共感しながら
お聞きしました。そして公正中立
を標榜するマスメディアの報道で、
ややもすると私達は知らず知らず
の内に事実や真実から遠ざかって
しまう危険性に警鐘を鳴らしてい
ると感じました。

辺野古・原発・被災地の課題は
更に深刻化していますが、マスメ
ディアの報道の意図には現地に立

つ視点で一層自覚的でありたいと
改めて考えました。

国立を見る化する 第1回「データで知 る地域」に参加して

高橋 しのぶ

国立に生まれ育って、気づけば
半世紀がすぎた。その年月の中で
私にとって公民館が身近な存在に
なった時期が2度ある。1度目が
10代の終わりから20代の後半にか
けて、そして2度目が今である。

最近市民サークルの一員として公
民館に再び出入りするようになって、
ふと目にした「国立を見る化
化する」データで知る地域」と
いう講座のお知らせは、まさに私
にとってタイムリーであった。特
に私のように国立でしか暮らした
ことのない者にとっては、このま
ちのどこに愛着を持っているのか、
どういうまちにしていきたいのか
などを主体的に考えることはなか
ったと言ってもいい。しかし、多
発する災害や、少子高齢化、子ど
もをめぐる痛ましい事件やその背
景を見聞きする中で、自分の住む
まちはどうなんだろう、そして自
分がもう少し主体的にまち作りに
関わった方がいいのではないかと
感じ始めていたところであった。

当日は、市民の暮らしに係る統
計やデータの説明を講師の方から
聞き、その後グループワークによ
る意見交換によって地域の理解を
深めるという方法で進められた。

講師である多摩信用金庫経営戦
略室の中西英一郎氏に、行政と民
間の間で有機的にデータが活用さ
れると、より良い政策の提案や実
行への循環が作られ、やがてより
良いまちづくりへとつながってい
くという、まちづくりとデータの
関係を説明していただいた。

中でも大事なポイントは、デー
タ分析はデータの中だけでは完結
しないという点であった。データ
から見えるものと長年の経験や勘
から得られる知見を重ね合わせて
考えていくことで、より良い意思
決定につながるという内容であっ
たと思う。経験や勘を裏打ちする
ものとしてデータはより力を発揮
する、でもデータだけで何かを判
断しても、それは血の通ったもの
にはならないのだなと思ひ、改め
て納得した。そしてこれから先、
国立にまつわるどんなデータが出
てくるのが楽しみななった。

実際に多摩地域や国立のデータ
に沿った講義の中には、普段目に
する機会のないものが色々あっ
た。例えば、国立で暮らす外国人
の人口の推移やその国籍の内訳と



国立の現状について考えました

いった、社会的にもトピックとな
っているものや、課税対象者の所
得金額や共働き夫婦の割合の推移
といったものまでだ。「国立って
さー」と友人たちから言われる国
立のイメージと合致するものもあ
った。特に市民自身が子育て環
境や学校教育、交通環境に対して
どう評価しているかというデータ
などはとても興味深かった。続け
て行われたグループごとの意見交
換であるが、私のグループは在住
もしくは在勤の方が程よく地区別
に参加されていた。誰かが「この
データの数値になったのはどうし
てなんだろう」と聞くと、その地
区に住んでいる方が実感話を話して
くださったりと、まさにデータと
経験が重なり合うような感覚を味
わうことが出来た。

これらのデータやディスカッシ
ョンがすべて国立の実態を表して
いるということではないのはもち

「誰も知らない コケの生き方」



お 話 樋口 正信 (国立科学博物館)

コケは、熱帯から極地まで海と砂漠以外の場所ならどこにでも生えています。そして日本には、アスファルトの隙間に生えているギンゴケから天然記念物に指定されているヒカリゴケまで、世界的にも豊かなコケ植物相があります。そこには小さくとも生きていく上でのさまざまな工夫が見られます。

今回はコケ研究の第一人者である樋口さんに、コケとはどんな生き物なのか、シダや種子植物との違い、また他の生物との関わり等についてお話いただきます。

〈樋口さんの主な著書〉

『コケのふしぎ』(SBクリエイティブ)、『コケを見に行こう! ~森の中にひっそり息づく緑のじゅうたん』(監修、技術評論社)、『標本学』(共著、東海大学出版会)ほか

と き 3月15日(日) 昼2時~4時
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(申込先着順)
申込先 2月18日(火) 朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1

〈近現代史講座〉

民衆蜂起の近代史

講 師 藤野 裕子 (東京女子大学)

現在、香港では「逃亡犯条例」の改正案に反対することを発端にした大規模な反政府デモが続いています。デモには多くの若者たちが参加し、警察の暴力に関する独立調査委員会の設置や民主的選挙の実現等を訴え、そして警官隊と衝突する緊迫した状況も報道されています。

翻って、日本においても、政府への不満等から民衆の大規模なデモや暴動が近代以降いくつも起こっており、歴史的に知られるような出来事も発生しています。

こうした活動はどのように起こり、どう展開し、そして終結していくのか。1900年代から1920年代にかけて日本で発生した都市暴動等の事例をもとに、社会的背景や参加者の構成、活動の特徴等からその実態に迫り、現代社会のあり方を考える機会にもしていきたいと思えます。

- ◆第1回 2月28日(金)「都市暴動とデモクラシー」
- ◆第2回 3月13日(金)「関東大震災時の悲劇」

時 間 夜7時~9時(全2回)
ところ 公民館3階講座室 定員 35名(申込先着順)
申込先 2月7日(金) 朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1

※連続講座ですが、いずれか1回からでも参加できます。

ろんである。データをいろいろな角度から見ると時間は時間も足りなかったし、市民の評価サンプル数が少ないという意見もあった。しかし私は、自分が国立というまことに少し近づいていくような気がした。データを基に市民同士が実感を共有し合っていくうちに、単なる中・西・東等だった各地区が、性格を持った存在のように感じてきたのである。

私が1度目に公民館を身近に感じた時は学生だったこともあり、ただ夢中に講座にのめりこんでいた。そして自分がのめりこんでいた分、同じ深さをほかの人にも求めていたように思う。しかし、今限られた時間の中でそれでも何かを学びたいと思った時に、あの当時のような時間もエネルギーもあるわけではない。でも時間が経った分、それなりに問題意識は持つようになった。そのような働き盛りと言われる私のような世代の市民にとっても、公民館が行きやすいところであってほしい。今回の、市民同士が国立という身近なテーマで学び合い、考えを深めるきっかけとなるような講座は、そのような意味で参加しやすかった。第1回となっていたので、2回目以降を楽しみにしている。

〈若者対象・青年講座〉

しょうがいのある人も一緒に学ぼう 目で見て楽しむプログラミング体験

パソコンで絵を描き、それを動かして楽しむプログラミング体験。これまで簡単な顔を描き、その形を徐々に動かすというプログラムなど基本的なこと学びました。初回からの参加者が2カ月の製作期間を経た発表もします。

講 師 宇佐美 理 (青年室スタッフ)
と き 2月15日(土) 昼2時~4時
ところ 公民館1階 青年室
対 象 しょうがいのある方と一緒に活動することに関心のある高校生から40歳くらいまでの方。身体・精神・発達のいずれかのしょうがいのある方の参加大歓迎です(後日面談をする場合があります)。
備 品 ノートPCをご準備ください。借用したい方はご相談ください。
定 員 5名(申込多数時抽選)
申込先 2月7日(金) 朝9時
公民館☎(572) 5 1 4 1

*公民館では、青年室や「喫茶わいがや」など様々な活動にボランティアの青年が関わっています。「青年講座」は、そんな若者が企画した講座です。



←受講生の作品

〈ドキュメンタリー映画〉
『天に栄える村』
 企画・製作：桜映画社 撮影協力：天栄村米栽培研究会
 2013年 カラー 106分

監督・編集 原村政樹 語り 余貴美子

福島第一原発から70km離れた福島県天栄村。人口6,000人ほどの小さな村では、日本一おいしい米作りをめざし努力を重ね、米のおいしさを競うコンクールで連続して金賞を受賞するといった実績もあった。



しかし、2011年3月の原発事故で田畑は汚染されてしまった……。それでも科学的な調査をもとに出来ることは何でもやろうと、苦闘する農家の人々の姿を追ったドキュメンタリー。

〈お話〉 「安全で世界一おいしい米を作る」

吉成邦市 (天栄米栽培研究会)

上映終了後、本映画にも出演している吉成さんに、震災後どのように米作りに向き合ってきたのかお話を伺います。

と き 3月7日(土) 昼2時～夕5時 (開場昼1時)
 ところ 公民館 地下ホール 定員 50名 (申込先着順)
 申込先 2月13日(木) 朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5141

〈図書室のつどい〉
ゆっくり、いそげ 
 ～カフェからはじめる人を手段化しない経済～

お話 影山 知明 (コーヒー店経営者)

今の経済・社会では成果や目的を先に決めて、最短距離でその達成を目指す傾向にあります。その中では、期日を決め、その目的が達成できたか否かで人が評価されます。人はまるで、目的を達成するための道具のようです。

その社会の価値観を180度転換してみたらどうかと著者は提案します。一人一人が持つ可能性を最大化するように、お互いが関わり合える社会。その中で著者の西国分寺のカフェ「クルミドコーヒー」ではカフェの営業からはじまり、地域通貨、哲学カフェ、出版と活動を広げてきました。

一人一人が大切にされる経済・社会を目指すために何をすべきか考える機会にしたいと思います。

〈影山さんの本〉表題作 (大和書房)、『続・ゆっくり、いそげ～植物が育つように、いのちの形をした経済・社会をつくる～』(クルミド出版)

と き 2月22日(土) 昼3時～5時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名 (当日先着順)

*申し込みは不要です。ご自由においでください。

シネボックス CINEVOX 公民館映画会
『断崖』
 Suspicion
 1941年 アメリカ 白黒99分 DVD版

監督 アルフレッド・ヒッチコック

原作 フランシス・アイルズ

出演 ジョーン・フォンティーン、ケーリー・グラント
 ナイジェル・ブルースほか

巨匠アルフレッド・ヒッチコックのサスペンス演出が冴え渡る心理サスペンス・スリラーの傑作。夫の怪しげな行動から財産目当てに自分を殺そうと計画しているのではないかと疑いを抱き始めた若妻。やがて夫の友人が不審死を遂げ……。疑心暗鬼から徐々に精神的に追い詰められていく若妻をJ・フィンティーンが熱演、アカデミー主演女優賞に輝いた。



と き 2月16日(日) 昼2時～ (開場昼1時)

ところ 公民館 地下ホール 定員 85名 (当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

三原色で描く

キミ子方式水彩画展

講座「シルバー学習室 第40期」の水彩画展を行います。三原色(赤・青・黄色)と白の絵の具で誰でも絵が描ける“キミ子方式”で描いた「もやし」「空」「毛糸の帽子」などを展示します。障害者センター「あさがお」、キミ子方式水彩画サークル「絵筆の会」との合同展です。

※「シルバー学習室」は市内に住む概ね60歳以上の方を対象に、料理、リトミック、自然観察、歴史、高齢者問題などを学んでいくなかで、新たな自分の発見や、受講者同士の交流・仲間づくりをしていく講座です。

期 間 2月18日(火)～23日(日)

と ころ 公民館 1階市民交流ロビー

連絡先 公民館 ☎ (572) 5141

障害者センター ☎ (573) 3344

公民館利用者連絡会(公利連)の声

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。会場調整会を開くにあたって、公利連の会員の方々が持ち回りで当日事前の準備をしていただいています。今回は公利連代表の長田さんに投稿していただきました。

公民館活動に協力して

公利連代表
長田利信

「あなたが使って!」「ありがとう、次回はあなたね」とか、「どうしてもこの時間は」「私たちがこの時間に!」では半分ずつ使いましよう」と、重なり合った部屋について譲り合いの精神で使う団体の決める、毎月一回の公民館利用の調整会の様子です。

ちよつと面倒でも、話し合うことで、お互いの活動の様子が分かり、譲り、譲られることで交流が深まり、信頼というより強固な人と人の結びつきができる。国立の公民館では一番効果的で良い決め方ではないでしょうか。

公民館利用については、無料、無差別、公平が原則であり、話し合いで決められなかったら、じゃんけんということになります。いずれにしても、譲ってあげたら、他の空いている部屋を利用するこ

とができます。

譲り合いの気持ちで話し合い、どちらが使うか、決めるのが良いですが、中には今まで使っていたからとか、もう講師を頼んでしまつたからとか、自分の都合のよいように主張し、何とか自分たちで利用できるようにと画策する人もいたりして苦勞することもあります。

公民館を学びの場とするなら、聞きたい講座を聴く、やりたい活動をやるということだけでなく、自分の感じ方や考え方の幅を広げ、人と人がつながり、豊かな地域社会になるよう、働きかけることが大切だと思います。もちろん営利で利用することはできません。

公利連は、調整の準備から、調整の話し合いの進行、決定、記録を、お手伝いして下さるボランティアの方と協力して、活動をしています。ですが、その他にも、文化祭、世代間交流会や地域防災講座、また、公民館をきれいにしよう!な

ど各行事などに協力しています。それというのも公民館が地域の文化の中心として、みんなの交流の場として、雰囲気を作り出す場として、いつもそこに行つたら、誰かがいて、何かが学べて、人とつながることが出来る。そんなことを期待しているからです。

しかし、公利連に加入する団体が高齢化と共に減ってきており、調整会を担っている世話人もこのままでは持続できません。地域の心と言つてもいい公民館はみんなの財産です。生涯学び続けていく場としての公民館を発展させるために、みんなの力が必要です。声を掛け合つて、公民館に足を運んで下さい。

会場を利用されている団体・サークル等の中から、調整会のお手伝いができる方を募集しています。

(個人でのお手伝いでも構いません)

お手伝いいただく作業は調整会当日朝9時に来ていただいて会場の申込書と表の読み合わせ、申込みの重なりのある個所の読み上げなどです。(年1~2回程度です。)ご協力いただける方は公民館2階受付、または調整会の受付にお声がけください。

—会場調整会 日程のお知らせ—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、会場調整の場を設けています。4月~9月(ロビーは5月~10月)の利用希望は以下を参照し、調整会へご参加ください。

なお、希望日・希望するお部屋が取れるとは限りません。調整中に電話などで相談されますと会の進行が遅れ、他の方をお待たせしてしまいますので、別の候補日・会場を用意して予約の決定がその場でできる方がご参加ください。

会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力によって実施しています。

■今後の会場調整会日程

使用希望月	ロビー使用希望月	申込書のポスト投入期間	会場調整会
4月	5月	2月1日(土)~3月5日(木)	3月7日(土)午前10時
5月	6月	3月7日(土)~4月2日(木)	4月4日(土)午前10時
6月	7月	4月4日(土)~4月30日(木)	5月2日(土)午前10時
7月	8月	5月2日(土)~6月4日(木)	6月6日(土)午前10時
8月	9月	6月6日(土)~7月2日(木)	7月4日(土)午前10時
9月	10月	7月4日(土)~7月30日(木)	8月1日(土)午前10時

〈公民館の窓〉
学習がつなぐもの

公民館では、市内の中高生のための学習支援（LABO☆く）にスタ）を行っています。そこには、様々な子どもたちがいて、通っている学校も、学年も違います。それぞれの背景を持った彼らが、「学習」を通じて出合い仲良くなっています。勉強が苦手な子ども得意な子ども、趣味の話や学校で流行していることなど、共通の話題に花を咲かせている様子は、非常に微笑ましい光景です。

それを支えるのは近隣の大学生たちです。「少し先を歩く大人」というナナメの関係性が、子どもの悩みや苦勞、喜びに寄り添います。

「なんで勉強しなくちゃいけないの？」そう言う子どもの話をじっくり聞いて、一緒に考えて悩んでくれる。大好きなアーティストと一緒に喜んでくれる。ちょっと友達に近いですが、少しだけ先輩だから「そうだよね」「わかるよ」って素直に共感できて、一緒に考えられるのだと私は思います。

私は、この4月から担当になりました。子どもと大学生にたくさん出合い、多様な価値観があることをあらためて感じています。お互いの違いを認め合い、安心していられる場所があることは、のびのびと生きるために重要なのだと思います。そんな「学び」がLABOには溢れています。(K.K)

〈社会体育事業〉
「街を・山を歩く」第4回

日時 3月19日(木)〈雨天中止〉
集合 国立駅北口 朝9時
実施方面 葛飾区柴又方面
(距離:約10キロ 高低差なし)



対象 市内在住、在勤者 ※行程はウォーキング初心者向けです。

チラシ 2月21日(金)から市役所3階生涯学習課、市民総合体育館、公民館、北・南市民プラザ、くにたち・こくぶんじ市民プラザで配布します。
(コースは2月21日からHPでも確認できます。)
概要等詳しくは配布チラシを確認してください。

申し込み方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を確認のうえ、2月25日(火)から3月9日(月)の期間に下記までお申し込みください。

申込・問合せ先 教育委員会 生涯学習課
社会体育担当 ☎(576) 2107 (直通)

公民館運営審議会報告

1月14日(火)第32期第15回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人4名。

報告事項

- 公民館だより編集研究委員会
参加募集記事に関し、更に解り易い工夫が必要。冬休み直前ふれあいひろばは、公民館利用者の幅を拡げられてよい、などの意見があった。
 - 社会教育委員の会
生涯学習情報の集約・発信については、ほぼまとまった。次回テーマは職員の専門性について行う。
 - 東京都公民館連絡協議会
2月1日の東京都公民館研究会第四課題別集会の準備を行った。
 - 社会教育学習会
第一回学習会について、準備不足否めず賛否両論あったが、枠にとらわれない新しい試みができた。
 - 協議事項
3月の定例会
3月30日(月)は休館日だが、候補として確認した。
 - 職員体制の人事要望について
要望書を決定、月内に市長・教育長に面談することとなった。
 - 今後のスケジュールについて
残された期間での重点的取り組み・方向性について協議。次回に継続。
 - 公民館使用後の確認について
館長より、会場使用後の現状復旧や忘れ物防止等のための提案があった。
- 次回は2月11日(火・祝)夜7時15分から。傍聴歓迎。(今村)

ひろば

(8ページにもあります)



バドミントン 国立ソール

初心者の方も経験者の方も楽しくバドミントンをしています。コーチが丁寧に教えてくれるクラブです。ぜひ一緒にバドミントンをしましょう。入会金無。月二千元。
日時 毎週金曜日 朝9時〜12時
場所 総合体育館
連絡先 横井090(718) 0509

国立あひるグループ会員募集

ア・カペラに魅せられて50年続く女声合唱団です。音楽は、その時出会ったあなた自身のものになる。さあ、一緒に歌いましょう。誰でも何処でもいついづまでも!!
日時 毎週金曜日 昼1時〜
場所 公民館 地下ホール
連絡先 佐藤(573) 0266

くにたち市民合唱団員募集

生誕250年のベートーヴェンの静かな海と楽しい航海、ケルビーニのレクイエムの合唱団員を募集。初心の方にも、合唱が久しぶりの方にも丁寧に練習します。
日時 3月4日(水)毎水曜夜6時半
場所 芸小ホール 音楽練習室他
連絡先 高橋042(574) 7071

会員募集 社交ダンス絆

プロ教師のもと楽しく練習しています。リタイアで始める人も歓迎。難しいステップも何度も練習します。初めてのの方は、毎回無料補講します。見学歓迎します。
日時 毎週火曜日 昼3時〜5時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 桜井042(325) 6791

リトミック さくらんぼリズム

クラス体験のご案内、ピアノの音に触れながら親子でリトミックを始めませんか。1オクターブ、2オクターブがあります。体験費五百円。詳細はお問合せ下さい。
日時 月3回火曜日 朝10時〜
場所 芸小ホール 音楽練習室
連絡先 阿部090(6958) 2783

光遊会 写真展

東京近郊の四季折々の、風景等を撮って楽しんでいる、サークルです。今年も、一年間会員の撮影した写真展を行います。どうぞ観に、お越し下さい。
日時 2月11日(土)15日 朝9時〜
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 安藤080(5546) 0989

数学を楽しむ集い(2月期)

二月は、球面上での幾何学や条件付き確率を紹介します。意外な結果に驚かれるとともに、数学を身近に感じていただけます。お気軽にお越し下さい。
日時 2月15日(土)29日(土)昼1時〜
場所 公民館 中集会所
連絡先 山本(572) 1028

ひろば

(7ページにもあります)



くにたち国際友好会 WING

2月度の異文化コミュニケーションの会は、インドネシアの歴史・文化・諸事情について、一橋大学留学生のアングレインイ・イフアさんに紹介していただきます。
日時 2月20日(木) 夜7時～9時
場所 公民館 集会室
連絡先 和田090(349) 2110

第一回著者山家悠紀夫さんと学ぶ『日本経済30年史』連続講座

90年バブル破裂からアベノミクスまで日本経済は低迷を続け、暮らした悪化。その原因を市内在住の山家悠紀夫さんと学び、考える。
日時 2月22日(土) 朝10時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 田島042(576) 4015

都市農業と私たち

お話・澤登早苗氏(山梨県都志野町、キウイフルーツ有機栽培農家・恵泉学園大学教授) 三多摩たべもの研究会連続講座第3回目。
日時 2月22日(土) 昼1時半
場所 公民館 音楽室
連絡先 野村042(46) 7570

映画「シスターフッド」上映会

「生きづらさを抱えた女性たちが探し求めた自分らしさ」上映後石川優美さん(グラビア女優、ライター)、西原孝至監督トーク※日本語字幕、手話通訳有千二百円。
日時 2月22日(土) 昼1時45分
場所 芸術小ホール
連絡先 今井090(9002) 1017

一橋大学における人権問題について考える学習会～国立市人権・平和・多様性の条例を活かす～

アウトテイングにより自死した学生、教員による学生に対するヘイトパワハラ、学生の声を聞き考える。
日時 2月28日(金) 夜6時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 佐藤042(574) 0163

手作り味噌を作ろう

国産有機大豆と麴で味噌を作る初心者向けの簡単WSです。親子参加可。エプロンお手ふき持参。材料費二千円。主催・スペースF
申込み〆切2月14日(金)。
日時 2月29日(土) 昼3時
場所 公民館 実習室
連絡先 藤井(507) 4414

春季ソフトテニス市民大会

参加資格は市内在住、在勤在学ラテ参加費500円(高校生200円)。中学男女無料3月15日(日)雨29日(日)一般男女、シニア6月7日(日)雨14日(日)申込締切は中学生3月1日(日)一般男女シニア5月24日(日)。
場所 広場テニスコート
連絡先 加藤(572) 4728

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。会員登録は6カ月に一回掲載することができですが、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

「サークル訪問」に載せてほしいサークル募集!

「サークル訪問」は、公民館だより編集研究委員会の委員が市内で活動するサークルに伺って取材し、公民館だよりへ記事を掲載するコーナーです。活動内容を紹介したり、メンバーを募集したいサークルのみならずは、ぜひご連絡ください。

問合せ先 公民館 ☎ (572) 5141

A&ANS

〈サークル訪問340〉

「A&ANS」は、さまざまな学習会を企画する中で、自分の身体と向き合うための時間「さするゆする 手を当てる〜あわいの間」の時間のからだほぐし〜」を2019年9月から始めている。

講師のタカハシトモコさんは「野口体操」を20年間探求されてきた。それにさらに整体、身体技法、気功、そしてボイストレーニングなどを取り入れてつながっているボディワークだ。

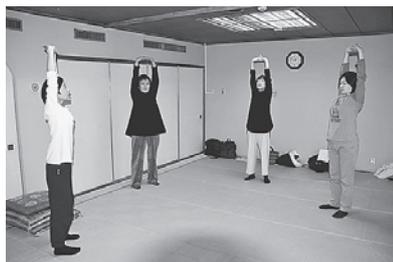
タカハシさんの「呼吸を意識しながら、肩幅に足を開いて、手を組んで、頭の上で手を反して吐きます。…」とのリードに合わせて、皆でゆっくりと体を動かしていく。

次は体の軸を真ん中に、左右に回転させる。自分の体に聴いて、やりやすい方法で大きくしてもいいし、小さくしてもいい。その次は尾骨を意識しながら、手は頭の上に組んで、吸って吐きながら体をプルプル揺らす。自分が一番元気だったころを思い出して、それに現在の自分を重ねる。そして最後に膝をゆるめてシヤカシヤカゆすっている、からだの中の細胞が整っていく感じになる。

他にも手のひらをこすり合わせたり、手のひらにある「労宮」というツボを押ししたり、温めた労宮を目に当てたりした。またかかとを押さえて足首を回し、足の甲の



足の甲の指の骨を離していくように



天を突くような感じで吐きます

〈文・写真 錦田 美緒〉

場所 公民館 和室
参加費 一回2000円
連絡 矢田080(5017) 8008

指の骨を一本一本離していくように押しつけてマッサージュしているうちに、私もすっかり気持ちよくなつて、意識が遠のいていく感覚だった。
皆さんにもこの解放感をぜひ体験してみたい。
日時 不定期(平日) 昼1時半～3時
場所 公民館 和室
参加費 一回2000円
連絡 矢田080(5017) 8008